



ジェリング・プラウ社が上海ジェノミクス社との共同研究を延長

【東京、2009年9月29日】株式会社ジーエヌアイ（臨床試験段階の生物医薬品会社）は、中国の完全子会社である上海ジェノミクス社が2006年にジェリング・プラウ社と結んだ研究開発計画を延長することに両社が同意したことを発表した。この研究計画は現在のジェリング・プラウ社の一部である、前オルガノン社との間に結ばれたものであります。本計画は、引き続き、核内受容体機能ならびに低分子化合物を用いた抑制剤研究に重点的に取り組むものです。

当社グループ社長のイン・ルオは、「アジアにおいて、ジェリング・プラウと引続き提携することを大変うれしく思います。これにより上海ジェノミクス社は、共同開発研究の延長により、中国における探索性生物研究の指導的地位をより高める力添えを得る事になります。」と述べました。

探索性生物研究は、2001年創立以来当社の中核業務であり、癌や炎症研究の分野において化合物探索ならびに検証について広範囲的な研究が展開されています。このような経験から、当社はこの分野において、極めて好条件な立場にあります。なぜならば、各国際的製薬会社はその薬剤開発の機能を拡大するために、費用効果の高い中国への外部委託を探しているためであります。

ジーエヌアイについて

2001年に設立された臨床段階の国際的な創薬企業で、日本に本社があり、中国で臨床事業等を行っています。2005年6月に上海ジェノミクス（2001年設立）を買収し、上海において一貫した創薬研究ならびに開発プラットフォームを行っています。当社グループの一体化した強みを生かし、他の国際的製薬企業との共同研究を行ってきました。詳細は、ホームページ www.gnipharma.com と www.shanghaigenomics.com をご覧ください。

ご注意

この発表文に記載されている、ジーエヌアイの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来予想に関する見通しです。これら見通しは、現在入手可能な情報等によるジーエヌアイの判断および仮定に基づくものであり、実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要素により、これら見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら見通しのみで全面的に依拠することはお控えいただきますよう、お願いいたします。ジーエヌアイは、本発表文の日付後において、将来予想に関する見通しを更新して公表する義務を負うものではありません。なお、上記のリスクや不確実な要素は、業績に不利な影響を与える将来の事象を含みます。